

特定非営利活動法人日本栄養改善学会NPO第14期8月度理事会議事録

- I. 日 時：平成28年8月20日（土）13:15～16:50
- II. 場 所：東京都港区 TKP田町カンファレンスセンター B1C会議室
- III. 出席者数：理事総数19名 出席理事数19名（内委任出席3名）
- IV. 出席理事氏名：武見ゆかり（理事長・議長）、赤松利恵、荒川義人、笠原賀子、川久保清、川島由起子、酒井徹（第64回学術総会会長）、下浦佳之、瀧本秀美、塚原丘美、名和田清子、新澤祥恵、南久則、村山伸子、八木典子、由田克士、鈴木公（副理事長・委任出席）、石田裕美（委任出席）、上西一弘（委任出席）

出席監事氏名：林静子

その他の出席者：吉池信男（第63回学術総会会長）

V. 議事録署名人の選任に関する事項

議長より本日の議事をまとめるに当たり、議事録署名人2名を選任することを諮り、川島由起子理事及び下浦佳之理事を選任することを全員異議なく承認した。

VI. 審議事項 ※（ ）は提案説明者

【I. 通常総会関連事項】

1. NPO第13期庶務報告（川島庶務担当理事）
2. NPO第13期事業報告及び決算報告並びに監査報告（赤松学術担当理事、塚原財務担当理事、林監事）
3. NPO第14期事業計画案及び予算案（赤松学術担当理事、塚原財務担当理事）
4. 評議員候補者の選出（川島庶務担当理事）
5. 第65回日本栄養改善学会学術総会会長候補者の推薦（武見理事長）
6. 通常総会・評議員会の運営（川島庶務担当理事）

【II. 庶務関連事項】

1. 細則・申し合わせの制定・改定
 - (1) 地方支部会の運営に関する細則・申し合わせの改定（塚原財務担当理事）
 - (2) 栄養学雑誌編集委員会の運営に関する申し合わせの改定（瀧本理事・編集委員長）
 - (3) 栄養学雑誌サプリメントの出版に関する申し合わせの制定（瀧本理事・編集委員長）
 - (4) 役職員旅費に関する申し合わせの改定（塚原財務担当理事）
2. 栄養学学術連合（仮称）の立ち上げ（武見理事長）
3. 理事候補者選挙管理委員の選出（川島庶務担当理事）
4. 今後の会議予定（川島庶務担当理事）

【III. 編集関連事項】

1. 栄養学雑誌編集委員会報告（瀧本理事・編集委員長）
 - (1) NPO第13期投稿・掲載等の状況
 - (2) 投稿規定・執筆要領の改定と英語を言語とする投稿規定の制定

【IV. 学術関連事項】

1. 第63回学術総会準備状況（吉池第63回学術総会会長）
2. 第64回学術総会準備状況（酒井第64回学術総会会長）
3. 「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」施行に伴う本学会の対応（武見理事長）
4. 利益相反マネジメント

- (1) 栄養学研究の利益相反（COI）に関する指針の制定（赤松学術担当理事）
- (2) 「栄養学研究の利益相反（COI）に関する指針」の細則の制定（赤松学術担当理事）
- (3) COI委員会委員の選出（武見理事長）
- 5. 「健康な食事」の推進のための取組（赤松学術担当理事）
- 6. 関連学協会等との連携（回覧資料）
 - (1) 文科省科研費審査システム改革案パブリックコメント提出後の状況（武見理事長）
 - (2) 「平成29年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞及び若手科学者賞受賞候補者」の推薦（武見理事長）
 - (3) 「第3回国際こめ油会議」の後援
 - (4) 公益財団法人不二たん白質研究振興財団「公開講演会『大豆のはたらきin東京ー子供の栄養・健康を通してー』」の後援
 - (5) 特定非営利活動法人うま味インフォメーションセンター「2016うま味国際シンポジウム」後援事業報告・御礼
 - (6) 日本肥満学会とのホームページ相互リンク
 - (7) 小浜市「第15回杉田玄白賞」募集周知協力
 - (8) 一般財団法人ニッポンハム食の未来財団「平成29年度公募型研究助成」周知協力
 - (9) 公益財団法人日本科学協会「平成29年度笹川科学研究助成の募集」周知協力

【V. 広報関連事項】

- 1. ホームページ事業（酒井広報担当理事）

【VI. 国際関連事項】

- 1. 国際活動推進委員会報告（村山国際担当理事）
 - (1) 国際学会等運営・連携・協力
 - (2) 学術総会での国際企画等
 - (3) 内閣府「栄養改善事業の国際展開検討チーム」への参加
 - (4) 国際協力活動

【VII. 支部会報告】

- 1. NPO第14期支部会活動費（塚原財務担当理事）
- 2. 実践栄養学研究セミナーの地方支部会での実施に向けて（赤松学術担当理事）
- 3. 支部長会議の運営（武見理事長）
- 4. 各支部会からの活動報告
 - (1) 北海道支部会（荒川理事）
 - (2) 東北支部会（笠原理事）
 - (3) 関東・甲信越支部会（事務局）
 - (4) 北陸支部会（新澤理事・北陸支部長）
 - (5) 東海支部会（塚原理事・東海支部長）
 - (6) 近畿支部会（由田理事・近畿支部長）
 - (7) 中国支部会（名和田理事）
 - (8) 四国支部会（酒井理事・四国支部長）
 - (9) 九州・沖縄支部会（南理事・九州・沖縄支部長）

VIII. 議事の経過の概要及び議決の結果

【I. 通常総会関連事項】

1. NP0第13期庶務報告・・・原案を承認し、評議員会・通常総会に上程することとした。
2. NP0第13期事業報告及び決算報告並びに監査報告・・・原案の一部を修正して承認し、評議員会・通常総会に上程することとした。通常総会に提出する決算資料の他に、今期の納税申告に関する計算書類と支部会会計報告に関する資料が配付された。本理事会に先立ち、午前中に開催された監査結果が報告された。
3. NP0第14期事業計画案及び予算案・・・原案を承認し、評議員会・通常総会に上程することとした。通常総会に提出する予算資料の他に、第63回学術総会の最終予算案が配布され、これを承認した。塚原財務担当理事から、学術総会の実施にあたっては本日承認された最終予算案に基づいて執行していただきたい旨、発言があった。
4. 評議員候補者の選出・・・原案を承認し、評議員会・通常総会に上程することとした。
5. 第65回日本栄養改善学会学術総会会長候補者の推薦・・・次のとおり評議員会・通常総会に推薦することを承認した。
学術総会会長 村山伸子新潟県立大学教授
会期と会場 平成30年（2018年）9月3日～5日 新潟市・朱鷺メッセ
担当支部会 関東・甲信越支部会
6. 通常総会・評議員会の運営・・・タイムスケジュール、登壇者ならびに提案者を確認した。武見理事長から、評議員会では会員獲得（正会員、学生会員、協力会員）に向けて全評議員に協力をお願いしたい旨、発言があり、協力会員勧誘用のリーフレットが回覧された。

【Ⅱ. 庶務関連事項】

1. 細則・申し合わせの制定・改定・・・承認された細則・申し合わせは別紙のとおりである。
 - (1) 地方支部会の運営に関する細則・申し合わせの改定・・・原案を承認した。支部会運営の関連としてマイナンバー制度の対応についての資料が配付された。
 - (2) 栄養学雑誌編集委員会の運営に関する申し合わせの改定・・・原案を承認した。
 - (3) 栄養学雑誌サプリメントの出版に関する申し合わせの制定・・・原案の一部を修正し、承認した。サプリメントの発行依頼書（書式）は、理事長、編集委員長に一任することを了承した。
 - (4) 役職員旅費に関する申し合わせの改定・・・配布された原案を一部修正して提案があり、これを承認した。
2. 栄養学学術連合（仮称）の立ち上げ・・・9月8日に第63回学術総会会場で開催する立ち上げ準備会議の資料が配付され、この取り組みについて承認した。現時点で10学会が準備会議に参加の意向を示していること、準備会議出席にかかる旅費は各学会が負担すること、会場費と昼食代は本学会が負担することが補足され、これを了承した。
3. 理事候補者選挙管理委員の選出・・・荒井裕介評議員、勝間田真一正会員、五味郁子正会員、品川喜代美正会員、森直子評議員の5名が提案され、これを承認した。
4. 今後の会議予定・・・今後の会議予定が配布された。次回理事会は1月28日を予定している。

【Ⅲ. 編集関連事項】

1. 栄養学雑誌編集委員会報告
 - (1) NP0第13期投稿・掲載等の状況・・・配付資料により報告があり、これを了承した。
 - (2) 投稿規定・執筆要領の改定と英語を言語とする投稿規定の制定・・・配布された原案の「実践活動報告（現：実践報告）」について質疑・意見があり、編集委員会で再検討することとした。新しい投稿規定は2017年1月1日の施行を目指していることから、理事長・編集委員会・学術担当理事で原案を調整し、理事会は書面審議とするスケジュールを了承した。英語を言語とする投稿規定は、日本語を言語とする投稿規定・執筆要領が整備された後に取り組みことを了

承した。また吉池第63回学術総会会長から、演題登録に資するため「学術総会講演要旨執筆要領」の整備について要望があった。

【IV. 学術関連事項】

1. 第63回学術総会準備状況・・・実行委員会名簿、プログラムが配布され、最終準備状況が報告された。
2. 第64回学術総会準備状況・・・名誉顧問に山本茂十文字学園大学教授・第52回学術総会会長、野地澄晴徳島大学学長を、学術総会副会長に高橋保子徳島県栄養士会長、近藤真紀四国大学教授が推薦され、これを承認した。
3. 「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」施行に伴う本学会の対応・・・前回の理事会で継続審議となった本件について、7月3日に開催した会議（出席者：理事長・赤松学術担当理事・上西編集担当理事、川久保理事、新澤理事、南理事、柳倫理指針検討WG委員長）の記録が配布された。同会議で検討した、①「栄養改善に関する研究を実施するにあたっての倫理原則」の改定案、②「栄養改善に関する研究の倫理指針」の廃止と本学会倫理審査委員会の解散、③研究倫理に関する教育・支援担当（相談窓口）の設置、について配付資料により提案があり、これを承認した。承認された「栄養改善に関する研究を実施するにあたっての倫理原則」は別紙のとおりである。
4. 利益相反マネジメント
 - (1) 栄養学研究の利益相反（COI）に関する指針の制定・・・原案の一部を修正（申告する対象者に地方支部会支部長を追加）し、これを承認した。
 - (2) 「栄養学研究の利益相反（COI）に関する指針」の細則の制定・・・原案の一部修正（申告する対象者に地方支部会支部長を追加、対象者の申告時期と具体的な申告期間）し、これを承認した。支部会活動にかかる利益相反マネジメントについて意見が出されたが、まずは本部活動における全ての準備が整った後に、検討することを了承した。
 - (3) COI委員会委員の選出・・・青江誠一郎評議員、大久保公美正会員、片山律弁護士（非会員）、曾根博仁評議員、柳沢香絵評議員の5名が提案され、これを承認した。本理事会で承認された「栄養学研究の利益相反（COI）に関する指針」ならびに「栄養学研究の利益相反（COI）に関する指針の細則」について、COI委員に就任する片山弁護士に、法規範・社会規範等に照らし合わせた確認を依頼し、必要な修正が生じた場合は理事長に一任することを了承した。
5. 「健康な食事」の推進のための取組・・・8月18日に開催した3団体（日本栄養改善学会、日本給食経営管理学会、日本栄養士会勤労者支援事業部）の打合会について配布資料により報告があり、これを了承した。
6. 関連学協会等との連携・・・次の事業について対応したことが回覧資料により報告され、これを了承した。
 - (1) 文科省科研費審査システム改革案パブリックコメント提出後の状況・・・武見理事長から、①提出コメント1,633件の内、栄養学関連のものが多数あったこと、②最終調整は年内を予定していることが、情報提供された。
 - (2) 「平成29年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞及び若手科学者賞受賞候補者」の推薦
 - (3) 「第3回国際こめ油会議」の後援
 - (4) 公益財団法人不二たん白質研究振興財団「公開講演会『大豆のはたらきin東京ー子供の栄養・健康を通してー』」の後援
 - (5) 特定非営利活動法人うま味インフォメーションセンター「2016うま味国際シンポジウム」

後援事業報告・御礼

- (6) 日本肥満学会とのホームページ相互リンク
- (7) 小浜市「第15回杉田玄白賞」募集周知協力
- (8) 一般財団法人ニッポンハム食の未来財団「平成29年度公募型研究助成」周知協力
- (9) 公益財団法人日本科学協会「平成29年度笹川科学研究助成の募集」周知協力

【V. 広報関連事項】

1. ホームページ事業・・・8月17日現在の更新情報が配布資料により報告された。リニューアル版のホームページ（見本）が映写され、これを了承した。総会でも映写する予定であることが報告された。

【VI. 国際関連事項】

1. 国際活動推進委員会報告・・・新たに神馬征峰東京大学大学院教授を国際活動推進委員に加える旨、提案があり、これを承認した。
 - (1) 国際学会等運営・連携・協力・・・① 22nd IUNS-ICN (2021) の準備委員会の参画と本学会学術総会会場における募金活動、② 第3回 IUNS 栄養学のリーダーシップ育成国際ワークショップの準備状況について、配付資料により報告がありこれを了承した。
 - (2) 学術総会での国際企画等・・・アメリカ栄養教育行動学会 (Society for Nutrition Education and Behavior:SNEB) との連携について、配付資料により提案があり、これを了承した。
 - (3) 内閣府「栄養改善事業の国際展開検討チーム」への参加・・・配付資料により報告があり、これを了承した。
 - (4) 国際協力活動・・・アジア・アフリカ諸国における栄養改善への貢献を目途に、「学校給食」をテーマとした情報発信事業について、配付資料により報告があった。

【VII. 支部会報告】

1. NP0第14期支部会活動費・・・本日の理事会で改定された地方支部会に関する細則に基づき、次のとおり承認した。
 - 基本活動費：1支部会につき30万円
 - 会員数割活動費：会員数2,000名以上の支部会は会員1名につき100円。会員数2,000名未満の支部会は会員1名につき150円。
2. 実践栄養学研究セミナーの地方支部会での実施に向けて・・・配付資料により説明があった。9月7日開催の支部長会議で、各支部長の意見を伺う予定であることが補足された。
3. 支部長会議の運営・・・会議の議事次第が配布され、これを了承した。
4. 各支部会からの活動報告
 - (1) 北海道支部会・・・第14回支部会学術総会は山部秀子天使大学教授を学術総会会長とし、12月3日に藤女子大学で市民公開講座とともに開催する。
 - (2) 東北支部会・・・第3回支部会学術総会は佐藤実秋田栄養短期大学教授を学術総会会長とし、6月3日～4日に秋田市内で開催する。市民公開講座は山形での開催を企画している。
 - (3) 関東・甲信越支部会・・・第4回支部会学術総会は池本真二聖徳大学教授を学術総会会長とし開催する。8月28日に松本大学で市民公開講座を開催する。実践栄養学研究セミナーの開催を企画している。
 - (4) 北陸支部会・・・第12回支部会学術総会は北山富士子福井県栄養士会長を学術総会会長とし、2月19日に福井県国際交流会館で市民公開講座とともに開催する。
 - (5) 東海支部会・・・第6回支部会学術総会は安藤明美愛知学院大学教授を学術総会会長とし、6月25日にウインクあいちで開催する。

- (6) 近畿支部会・・・実践栄養学研究セミナーの開催に取り組んでいる。第15回支部会学術総会は池田清和神戸学院大学教授を学術総会会長とし、12月18日に神戸学院大学で市民公開講座とともに開催する。
- (7) 中国支部会・・・第13回支部会学術総会は木村要子広島国際大学准教授を学術総会会長とし、7月8日～9日に市民公開講座とともに開催する。
- (8) 四国支部会・・・第4回支部会学術総会は、企画中である。
- (9) 九州・沖縄支部会・・・第4回支部会学術総会は三成由美中村学園大学教授を学術総会会長とし、9月17日に中村学園大学で市民公開講座とともに開催する。

以上